

# 船舶津波避難マニュアル

令和4年12月制定

HRM株式会社

避難行動判断フロー

緊急地震速報

<情報記入フォーム>

地震発生位置・規模	沖	km
津波警報・注意報種類	大津波警報 ・ 津波警報 ・ 津波注意報	
津波推定到達時間	時	分 ( 分後)
最大津波高さ	m	( 分後)
その他(避難勧告等)		

地震発生

航海中

昼間着岸中

夜間着岸中

津波到達までの時間及び最寄の港までの所要時間等を参照し、船長判断とする

帰港する

帰港しない

全速力で帰港し、旅客を下船させ、陸上避難場所へ誘導

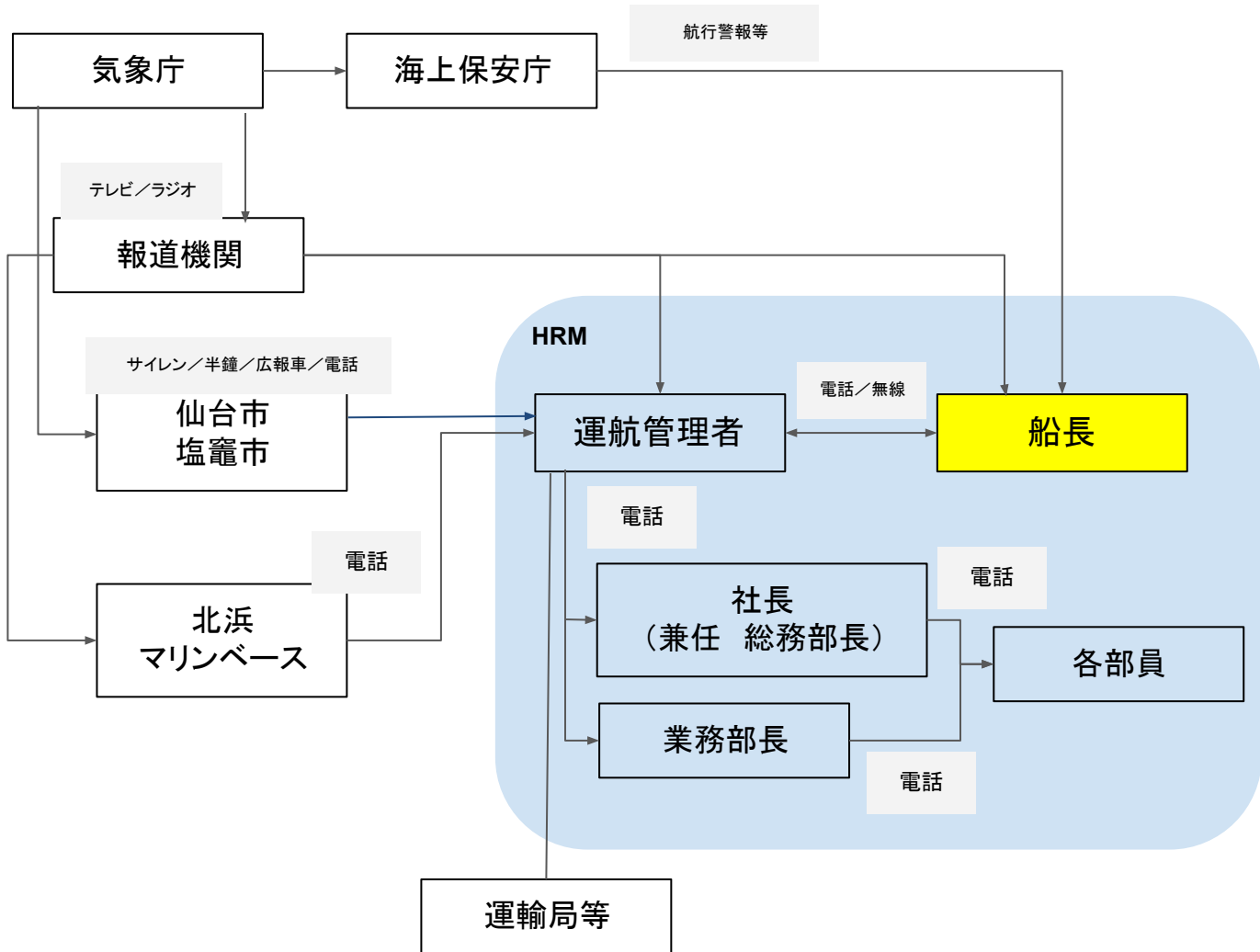
港に入港せず、海上避難とする

出港を中止し、旅客を下船させ、係留を強化し船員も陸上避難場所に避難

係留を強化し、陸上避難場所に避難

事前に確認しておく情報

【情報の伝達経路】



【津波避難行動を判断するために必要な情報とその入手先】

- テレビ/ラジオ/気象庁HP/150MHz無線電話/防災無線

地震規模、震度、津波警報・注意報、津波到達時間、津波の高さ、津波観測情報、沖合の津波観測情報

## 津波注意(警)報発令時行動指針

### 【発航前:係留中】

社員は係留を強化した後、陸上避難場所へ避難する。  
ただし、津波到達予想時間が40分以内であり、社員が係留場所に不在の場合は直接陸上避難場所へ避難する。

### 【発航前:旅客停泊乗船中】

津波注意報、および警報が発表されたことをお客様に周知し、出港中止、乗務員の指示に従って陸上避難場所へ誘導することをお伝えし、下船、避難をする。  
乗務員は係留を強化し、避難する。

### 【航行中】

津波注意報および警報が発表されたことをお客様に口頭で知らせる。以降、逐次情報提供を行う。

#### ■津波到達予想時刻まで20分以上ある場合

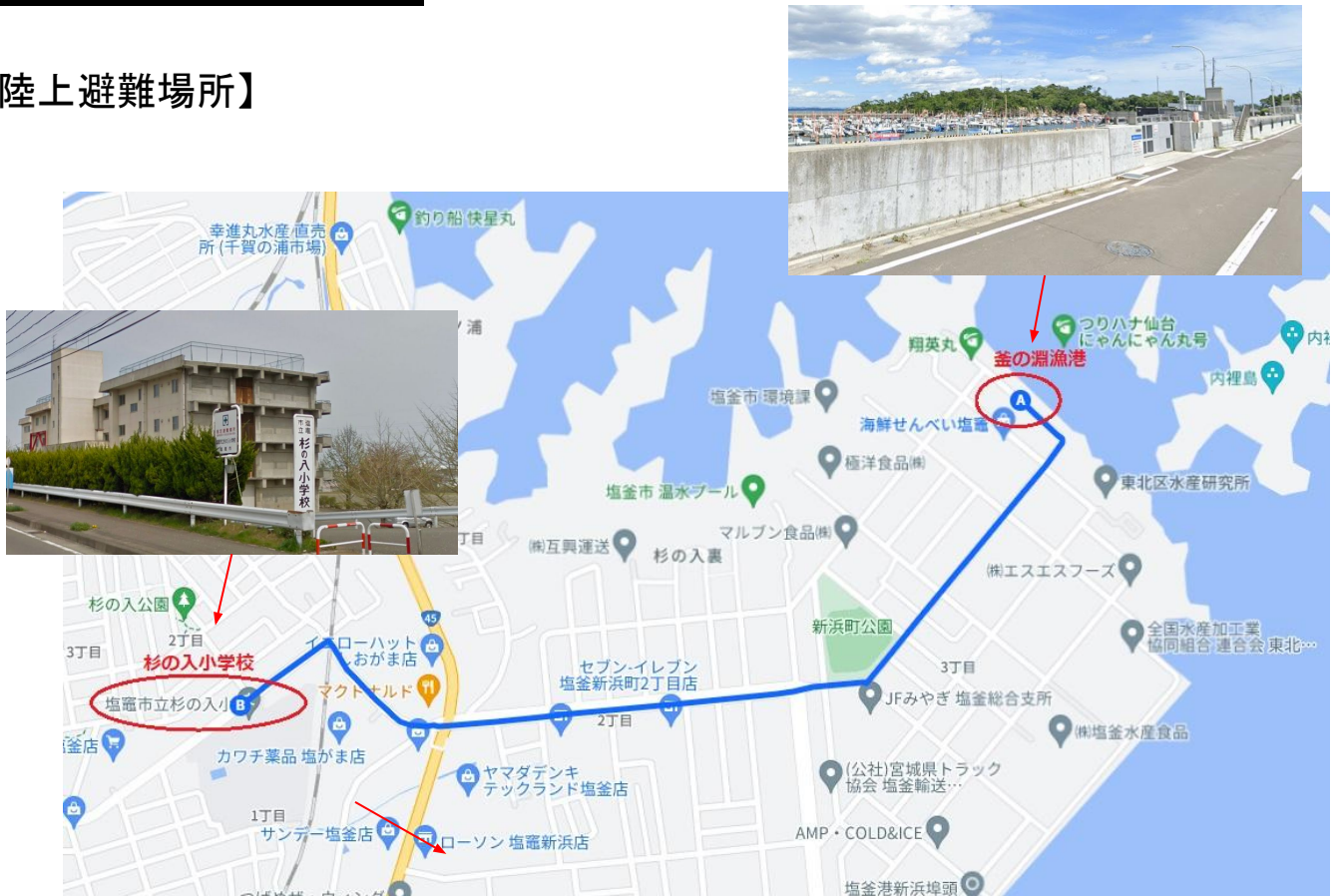
全力速で帰港すること、帰港後は乗務員の指示に従って下船、陸上避難所に誘導することを周知する。

#### ■津波到達予想時刻まで20分以下の場合

注意報・警報が発令されていないエリアへの避難、もしくは海上待機することを周知し、旅客の安全確保に務める。

陸上避難詳細

【陸上避難場所】



避難場所	塩竈市立杉の入小学校 (住所:塩竈市杉の入1丁目19-1)
釜ヶ淵漁港からの距離	1.7km
所要時間(徒歩)	20分
所要時間(車)	7分

【誘導】

旅客に陸上避難所へ避難する旨と距離、方法、所要時間を周知。釜ヶ淵漁港出入口より退避し、避難場所へ向かう。  
 運行管理責任者に出発時、到着時に連絡を行う。

## 津波避難を想定した訓練の実施

### 【訓練項目】

- ・非常連絡訓練  
航行中、係留中、夜間の場合におけるの連絡網の確認
- ・旅客の下船  
下船に係る手順の確認
- ・陸上避難誘導  
陸上での避難誘導の手順の確認
- ・緊急離棧操船  
緊急離棧操船方法・手順の確認  
(陸上作業員なし、船長のみ、などを想定)
- ・避難経路  
想定津波に対する避難海域／避難経路の設定、確認
- ・船舶安全確保  
想定津波に耐えうる係留方法の確認
- ・津波関連情報の入手  
津波関連情報の入手方法の確認
- ・それぞれにかかる時間の把握